

### 相談支援事業所ピアネットの『たまには聞いてよ。』

～相談を受ける人々～ 最終回

中村 立春

皆さん、こんにちは。今、4年に一度のサッカーワールドカップで日本列島が燃えています！おそらくこの記事が発行される頃には、日本代表の結末を目の当たりにしていると思いますが、「執念」「怨念」といったオーラを感じさせるベテランと、海外経験値の高い若手とが融合している今の日本代表は、ひと味違う「何か」を持っているのではと期待せずにはられません。

さてさて、どんな結末を迎えたのでしょうか… 前回は相談員の必需品「マナー」の話をさせて頂きましたが、今回も必需品のご紹介を。日本代表と同じ「チームプレイ」です。相談支援業務は基本的には「個人プレイ」で進行していきますが、ポイントでは複数の支援者・関係者と連携するいわば「チームプレイ」を展開していきます。その理由としては、「個人プレイ」では知識・経験値の限界、方向性や視点の固定化、支援の不透明性といったデメリットが存在します。

また、一人で他人の相談ごとに乗る精神的負担もあります。さらには、福祉だけでなくその近辺に存在している行政・医療・司法・教育といった他分野との連携を必要とする多種多様な相談内容が増えている現実があります。なので、今では「チームプレイ」はスタンダードな状態になりつつあります。

ただ、同時に現代社会では個人情報に対して、とても厳しい取り扱いが求められています。よって、「チームプレイ」では複数に関わる為、個人情報に対しての意思統一も重要な要素となっています。この意思統一の大切さもまた日本代表と同じですね！「個人プレイ」も「チームプレイ」も、半端ないっ！て言われたいものです。

### 5月の昼食会

平成最後の5月のとまとの昼食会はハヤシライスでした。

デミグラスソースの本格的ハヤシライスでトマトとデミグラのハーモニーにみんな舌づつみしていました。



### 編集後記

- 横浜は、おしゃれで綺麗な街だなと思った。(s.s)
- 寒くなったり暑くなったり体が付いていけません。短い期間で風邪をひきました。(J)
- 昨年植えた4色の八重咲きタチアオイ、見事に花開き超ハッピーです。(A)
- トヨタのジャパントクシーが車いすで乗りにくい。(広)
- とまとのアイドル、ウーパールーパー「ウバ子(♂)」と

- 「yasu(♀)」の赤ちゃんを今年は見ると良いな♪
- 柴崎岳ちゃんはヘアバンドやめて短いポニーテールが似合うと思うんだけど…(M)
- 東野圭吾さんと同じ誕生日と知り、とってもハッピー！泣けるミステリー小説書いてみようかな(N)
- カゼをこじらせて入院中(西滝)

### お花見

4月末、今年の花見は実施されました。今年も天候にも恵まれ…いや、事前から天候が良すぎて「花見まで花が持つだろうか？」が皆の心配する所でしたが…



雨に見舞われがちなどまどですが、とんでもなく晴天でしたし花もいっぱい残っていました!!



ふりふりと枝についている花が風でチラチラ舞うという最高のシチュエーション。

「花より団子」になるかもね」と心配していたみんなも「両手に花」で花もよし食べ物もよしで視覚も味覚も満足な花見になりました。



# へばだば

# 61

編集・発行：自立生活センターPingあomorい・就労継続支援B型事業所スタジオとまと・特定非営利活動法人ピアネット  
038-0011 青森市篠田1-8-1 エムズコーポ101/tel.fax: 017-761-2770/e-mail: ping@ping-aomori.jp  
http://www.ping-aomori.jp/ping\_page/index.htm 発行責任者/佐藤 広則

「へばだば」=津軽弁で、「じゃあね」というような意味。

## 第27回全国自立生活センター協議会議員総会報告

今年度のJILの総会は、5月28日から30日までの三日間、仙台市で行われた。バックの写像是、はじまってすぐの会場の様子である。

昨年は入院していたために、2年ぶりの出席だったが、出席者が年々減ってきているようにみえるのは気のせいだろうか。

いつものように、まず制度の改正点の説明などの情勢報告があった。総合支援法の関係では、入院時にヘルパー利用ができる(障害区分6だけ)こと・新人ヘルパーの同行支援が算定可能になること・重度訪問介護で1日を超えた外出ができるようになることなど、そしてバリアフリー法の関係では、駅や学校や小規模店舗のバリアフリー化が進まないことなどの解説があった。

休憩のあとの総会では、17年度授業報告・決算、18年度事業計画・予算について理事からの説明があり、質疑応答でのDPIの支援のためということ値上げされたJILの会費はその後どうなっていますかという質問については、そのうち報告しますということで、すべての事案が承認されて総会の初日が終了した。夕食はもちろん、牛タンをおいしくいただいた。

(総会で報告をしているJILの理事の皆さん)

2日目の午前は「ジェンダー差別」がテーマで、CILに限ってないだろうと思っていたが、統計を取ると確かに代表や事務局長などのリーダーの70%は男性であるからなんとかしろという。うちも男ばかりだ困った。

(2日目の様子。だいぶ人が増えてきて机がなくなった)



午後は、映画『風は生きよという』の宍戸監督の新作、『道草』の完成試写会と、パキスタンのCILとの交流の報告と、「JILって何?」というテーマでグループに分かれた話し合いがあった。

『道草』は、路上で突然叫ぶ人やいきなり暴力的になってしまう人など知的障害のある3人が、介助者を利用しての暮らしをしている日常を撮った映画で、知的障害があってもこういう生活ができるということを多くの人が観て知ってほしい作品だった。

次は宮崎のCILの山之内さんがパキスタンで1か月間、現地の介助者を利用して生活した体験報告で、介助を受けるためにパキスタンの風習に従って体毛を全部剃ったことと、となりのとなりの家がアルカイダの人たちだったということを知りて頭の中がいっぱいになった。「JILって何?」では、そもそもJILは何をしている組織なんだろうJILとDPIの関係はどうなってるんだろうせっかく各地から来てるんだからもっと交流したいなどの発言があった。

夜は、仙台駅のとなりのパルコの中華料理屋さんで北海道・東北ブロックの交流会があった。福島の「あいえるの会」の橋本さんの『会津磐梯山』の素晴らしい歌声を聞いて、今まで一番辛い麻婆豆腐を食べた。

最終日は、旧優生保護法による強制手術をした国に謝罪を求めるデモ行進があったが、体力の限界で参加しなかった。申し訳ない。

文・佐藤広則

61号もくじ	JIL総会	1	DPI日本会議全国集会 in神奈川 参加報告	3
	デモ参加	2	相談支援事業所ピアネットの『たまには聞いてよ。』	4
	バリアフリーあすなろに泊ってきました	2	お花見	4
	とまとの収穫祭	2	食事会	4
	勇樹的 MY WOLRD	3	編集後記	4

### 強制不妊手術と優生思想に対する

デモ行進 5月30日(水)



全国自立生活センター協議会の全国セミナー終了後に、錦町公園から仙台駅まで約2キロをデモ行進しました。なにも知らされず、同意もないまま、強制的に不妊手術が行われていた歴史を伝え、「障害は不良なことではない」「なくてもよい命はない」など、優生思想と闘っていくことをアピールしました。

Pingあおもりからは2人、主催者発表で約300人が参加しました。

### バリアフリーホテルあすなろに泊ってきました。

函館から江差方面に車で約1時間、乙部町と言うところにあるホテルが、完全バリアフリーだという情報を得て、夫婦で1泊してきました。まずは新幹線で新青森駅から函館北斗駅に。駅前でスロープがついたレンタカーに乗り換えてホテルへ。海を渡った実感がなく「北海道に来た」感もないままホテルに向かう途中の「道の駅あさぶ」で、太いホワイト&グリーンアスパラを見てやっと北海道を感じました。

さてホテルですが、完全バリアフリーとはどういうことでしょうか。

- 段差がない
- 部屋のドアが自動ドア
- ベッドが電動（2モーターで上下はしない）
- 障害がある人の入浴介助をしてくれる（事前にメールで予約を入れました）
- 社会福祉法人が経営していて従業員として当事者が働いている など。



自宅ではヘルパーの介助でリフトで入浴していて、長湯なのに温泉体験ゼロの夫。男性2名の介助で無事温泉にゆっくり浸かることができました。日本海がすぐそこなのに夕食はなぜか中華のコース料理。おいしかったです。朝食のパンもおいしかったです。

帰りは江差～松前～函館とソーランラインを南下して、途中で牡蠣祭り2か所に遭遇し、牡蠣をいっぱい食べてきました。(M)



### 「名古屋城木造天守のエレベーター設置を実現する実行委員会」名古屋大行進が6月19日(火)



抗議活動後には、名古屋メンバーと大阪メンバーの有志で48時間ハンガーストライキを決行しました。多くのメディアが同行取材をし、ロイター通信も共同通信の記事を配信したそうです。

河村たかし名古屋市長は車いすの人はドローンやクレーン（最新技術と言う意味）で吊り上げる、などと発言しているそうです。

前日入りした私たちは改築中の名古屋城を訪れたのですが、一緒に回ってくれたガイドさんがこの話に触れ「つけないって決まったんだから今更そんなこと（つけてほしいと）言ってもね～」と。これが一般の人の感想なんだなあと当事者との温度差を感じてきました。

Pingあおもりから2人、その他16都府県から550人の仲間が参加しました。

### ～とまとの収穫祭～

とまとのイベントは雨に憑かれています…というジンクスも最近跳ね除けていたのですが久々に数日前から雨が降り続けていました。

しかし!!!朝方までとんでもなく降っていたのにみんなの所へお迎えに行く頃には晴れ晴れとした天気になりました!!!今回の遠足はココ久しぶりの浅虫水族館です。

とまと史上最大参加人数での遠足になりました。食堂を予約している11:30までしばし自由行動、お昼ごはんは浅虫水族館のご好意でかなり広めのスペースを取って下さったので車いすの方達も、ゆったりとお昼ごはんを食べる事が出来ました。

お昼ごはんを食べ終わった人達から、また順次水族館へ戻っていきイルカショーを観る人達も。

イルカショーの間、外はとんでもない土砂降りに…。本当はこの後、近くの道の駅に移動予定でしたが、この雨の中、移動してまた降りてをやるよりも少しカフェコーナーでまったりする人や最後にもう一度水槽コーナーへ出向く人お土産を買う人など、それぞれの過ごし方で水族館を満喫していました。



### 勇樹的 MY WOLRD

#### アーチェリー始めました。

久しぶりの勇樹的 MY WOLRD です。へばだば 57号でもインタビューを受けさせてもらいましたが自分自身平成28年の4月に体調を崩し、それから約5か月間入院をしていました。

退院後、筋力の低下が著しかったので筋力アップのため何か運動を始めようと思い探していたところアーチェリーに出会いました。

今現在アーチェリーを始めて約2年程経ちますが感想としては、やりこめばやりこめほど奥が深く面白いです。ハマる人はハマると思いますよ。

実際自分自身アーチェリーをやり始めて半年以内に、これ

は長く続けられそうだと思いますアーチェリーの道具を早い段階から買そろえました。個人的に入院費に次ぐ出費でしたが…(汗)

去年、青森県障がい者スポーツ大会にアーチェリー部門でエントリーし出場してきました。県の障がい者のアーチェリー競技人口が少なく出場人数が数名だったので競技人口が増えれば競争は激しくなるとは思います。張り合いがあるので増えてくれればいいなと思いました。

ちなみにアーチェリーは大会での点数に応じてバッジを取得していき大きい大会に参加するにはある一定以上のバッジを取得していることが参加の条件になるらしいんですが自分自身、今年の秋に青い森アリーナで初心者免許とも呼べるグリーンバッジを取ろうと週末練習しています。興味のある方は是非ねむのき会館の方に問い合わせ来てみてはいかがでしょうか？

### Frame Cut

～DPI日本会議全国集会在 神奈川 参加報告～

6月1日(金)、2日(土)の二日間にわたり、横浜市技能文化会館にてDPI日本会議全国集会在 神奈川が開催された。

6月1日(金)、青森から新幹線で上野駅に向かい、11時ごろに上野で東海道線に乗り換えた。東海道線で戸塚駅に向かい、JR から横浜市営地下鉄ブルーラインに乗り換えて、会場最寄りの伊勢佐木長者町駅に向かった。13時30分からのDPI総会までの時間でトイレに行ったが、2階の会場近くのトイレは埋まっており、入れなかった。そのため、1階か5階のトイレに行くことになり迷ったが5階に行った。5階のトイレも埋まっていた。

13時30分からのDPI総会では、今年度の予算説明や昨年度の決算報告が行われた。そこで、名古屋城木造化計画と優生保護法不妊手術問題のアピール文が採択された。その後、神奈川県障害者自立生活支援センターの鈴木氏の特別講演が開催された。しかし、ホテルに早く戻るために途中で抜けて、ホテルに向かった。伊勢佐木長者町駅から横浜駅に向かい、横浜駅で京急線に乗り換えて京急川崎駅に向かった。ホテルは、京急川崎徒歩2分のアパホテル<TKP 京急川崎駅前>を予約していた。

アパホテル<TKP 京急川崎駅前>は、6月1日オープンの新しいホテルで、ものすごく外観も内装もきれいだった。エントランス脇には、車椅子用トイレもあった。肝心の部屋

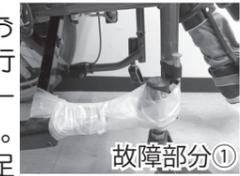
の様子は、廊下の扉はドアだったものの、ユニットバスと客室を分ける扉は引き戸になっていた。さらに、ユニットバスとトイレの壁に手すりがついており、バリアフリーだと感じた。

6月2日(土)、伊勢佐木長者町の駅を出て、すぐの某和食チェーン店で朝食セットを食べて、会場に向かった。会場では、午後1時からDPI全国集会全体会が開催された。主な内容は、障害者基本法の話となった。その後、今まで経験したことのないハプニングに遭遇する。

12時30分、お昼ご飯を食べに行こうと会場のホールの廊下に出た。廊下で車いすの足台フレームが折れた。さらにもう一箇所が折れていることがわかった。とりあえず、午後の分科会だけは参加しようと思い、8階に向かった。

そこで、救世主が現れた。救世主は、車椅子のフレームが壊れていると聞くと、自分が持っていた結束バンドを手で結んでくれた。また、足台フレームの故障はガムテープをぐるぐる巻きにして、応急処置をしてくれた。救世主の名前は、今福さんのヘルパーさんという方だった。

応急処置して頂き、本当に感謝申し上げます。また、車いすの状況を見て、声をかけてきてくれた方が八幡さんと言う方



だった。八幡さんの話によれば、自分が乗っている車椅子は非常にフレームが弱く、抜本的に解決するためには、フレームの補強が必要だと思うとアドバイスしてくれた。その補強は、東京のさいとう工房という良い所があるとわれ、とりあえず連絡してみればいいのかというアドバイスをくれた。アドバイスをください、本当に感謝申し上げます。

伊勢佐木長者町駅から上大岡駅を経由して京急川崎駅に向かった。京急川崎駅から徒歩で地下街を経由してJR川崎駅に向かい、新幹線の時間を早めてもらった。

6月3日(日)、10時にホテルをチェックアウトして、京急川崎駅から横浜駅を経由して、田園調布駅と溜池山王駅で乗り換えて、上野駅に向かった。東急電鉄と東京メトロの職員は、同じ目線になるように話をしてくれた。さらに、東急電鉄の職員は、案内放送しても良いかと聞いてくれた。過去に数回、いろいろな鉄道会社を利用しているが、案内放送してもいいか聞いてくれたのは、東急しかない。改めて、東急電鉄の対応の凄さが分かった気がした。

無事に上野駅に到着し、新幹線で青森に帰った。